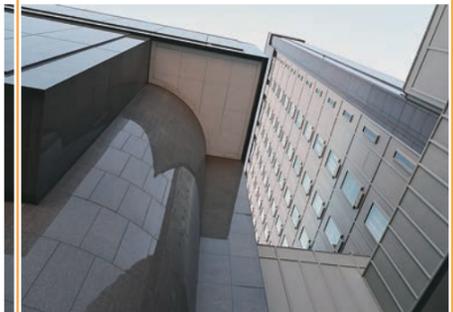


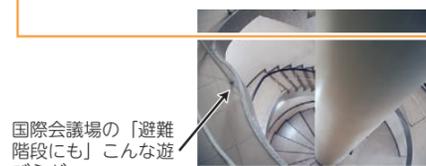
建築家 村野藤吾の世界

最後期の作品



【宇部興産ビル（1983年）】

村野藤吾 晩年の作品のひとつ。型から製作したアルミキャストパネルやマホガニーレドのアメリカ産花崗岩を使用した外壁により重厚感と高級感が上手く演出されている。シティホテルとオフィスが同居する複合ビルにおいて、ここまで凝ったデザインは、非常に珍しい存在である。



国際会議場の「避難階段にも」こんな遊び心が...

宇部油化工業硫安倉庫（1940年）、宇部ゴルフクラブハウス（1937年）。いずれも資材不足等により実現には至らなかった、建築界の偉才・村野藤吾の作品です。2015年夏、彼の建築・模型展が目黒区美術館（東京都）において開かれ、これら作品の姿を見ることができました。今回『翼』では、宇部に現存する宇部興産ゆかりの建築物から、彼の初期と最後期の作品をご紹介します。

【村野 藤吾（1891年～1984年）】

昭和時代の日本を代表する建築家のひとり。1930年代から50年以上に渡り数多くの建築設計に携わっている。シンプルな印象の中に機能性とデザイン性が同居する独特の設計は、友人好みなのか建築家にファンが多い。現存する建築物が多いこと、設計図が比較的多く残っていることもファンにとっては魅力的である。宇部市のように、渡辺翁記念館・旧宇部銀行（現、ヒストリア宇部）といった初期の作品と文化会館・興産ビルといった最後期の作品が一度に見られるところは珍しい。



初期の作品



【宇部窒素工業事務所（1942年）】

現、宇部ケミカル工場事務所。赤茶色の塩焼きタイルを用いた外壁は、大きな弧を描き、落ち着いた柔らかな印象を醸し出している。敢えて低く構えた玄関を通り抜けると、吹き抜けのホールがあり、明るく開放感に満ちている。ここが化学工場の事務所というのが面白い。



建築当時の優雅さを感じさせるトップライトと階段。事務所の性格上、内部の多くが改築されている。



執行役員 玉田



事務棟の四隅に設けられた「飾り柱」。下に行くほど大きくなるデザインは、力強い印象。花崗岩をこんな形にするのは、大変な作業らしい。



「村野さじ」とも呼ばれる「スプーン型の入り幅木」。靴や掃除機などが当たる部分を保護する目的で用いられる幅木でさえ、凝ったデザインでオブジェに。



アルミキャストパネルの外壁。窓部分の出っ張り、居室の空間演出と外観のデザイン性を両立し、更に空調機器を上手く納めるといって三役を担っている。

地域への社会貢献

世界スカウトジャンボリー

山口市阿知須・きらら浜で7月30日(休)～8月6日(休)に世界スカウトジャンボリーが開催され、国内外含め多くの方がUBE出展ブースを訪れました。



第8回 宇部興産グループチャリティコンサート

日本フィル交響楽団が宇部で公演。



このこの会 クラブ紹介

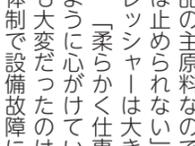
【最近の活動実績】

平成26年4月	スペースワールドツアー	(参加者75名)
平成26年9月	夜のBBQ in ココランド	(参加者61名)
平成27年1月	福岡アサヒビール工場見学&明太子作りツアー	(参加者41名)
平成27年4月	お花見&BBQ in 秋吉台	(参加者90名)
平成27年8月	球磨川ラフティングツアー	(参加者44名)

このこの会は平成8年に若手社員の職場を超えた交流を目的に発足し、今年で創立19年を迎えるイベント企画サークルです。名前の由来は第1回のイベントを能古島にて開催したことに由来し、年に3回の交流行事を行っています。

人事の協力のもと、現在は11名の愉快なスタッフで運営にあたっており、今年度は4月に秋吉台でのBBQ、8月に球磨川でのラフティングを開催しました。毎回、入念な準備を重ね、より多くの方に喜んで頂けるイベント作りを目指して活動に取り組んでいます。

次回は来年の2月頃に湯田温泉にて交流を図る企画を考えています。日頃は社員同士の交流の場として積極的に活用して頂きたいと思っております。



とにかく人と話をするのが好きで、コミュニケーションを大切にしています。学生時代は車談義に花を咲かせ、乗っている車は好きな色の青いスポーツカー。8年前から「スーパーGT」のファン。仕事は入社以来、配管や静止機器等の保全業務を担当。工場の主力品アンモニアはさまざまな化学品の主原料なので、「工場は止められない」というプレッシャーは大きいものの、「柔らかな仕事をしたい」という心がけています。最も大変だったのは、24時間体制で設備故障に



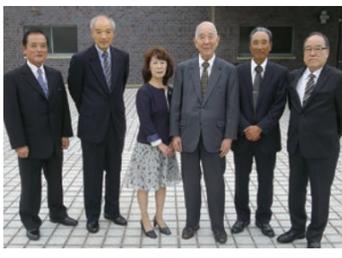
会長 榎村 真人 (松山町在住)

社員登場⑦

宇部興産(株) 設備管理G機械下 竹原 貴士

「どんな会ですか?」
私は副会長の玉井保生です。宇部好楽協会は、昭和21年、依田寛夫氏(後の宇部興産副社長)らによって設立されました。依田さんは、筋金入りのクラシックファンで、ご本人も音楽道を自覚しておられました。第2次世界大戦の空襲で宇部は大きな被害を受けましたが、幸運にも渡辺翁記念会館が被災を免れたので、市民の心を癒すには、音楽の力を借りるのが最短かつ最善だったのではないかと。

「主な活動は?」
設立当時から続けているのがレコードコンサートです。当初は、渡辺翁記念会



宇部好楽協会の皆さん(右から3番目が玉井副会長)

館で本物のコンサートを行う前の勉強会として行われていました。実際にコンサートで演奏される曲のレコードを聞いて依田さんが解説するわけです。因みに、今は、私が解説しています(笑)。他には、コンサートの招致ですね。直近では、来年の1月23日にピアノスト辻井伸行さんのシヨパンリサイタルが行われます。辻井さんは、渡辺翁記念会館の音響がとても気に入っておられるそうです。

「今後の活動はいかがですか?」
依田さんは、「作曲家・演奏家・聴衆は「一期一会」の糸で結ばれている。」と仰っていました。宇部には渡辺翁記念会館という世界に誇れるコンサートホールがあります。これまでもこのホールでは数多くの素晴らしい「一期一会」がありました。我々の活動が、新しい「一期一会」をつくる一助になれるよう、努めてまいります。



会長の依田忠さん



このコーナーでは「地域の顔」として活躍している方々をご紹介します。今回は、「宇部好楽協会」の皆さんにお話を伺います。

国鉄の寝台車を10両ほど借りて、小郡駅(現在の新山口駅)の引込み線に停め、ホテル代わりにも使うという荒業で乗り切ったことも良い思い出ですね。

「翼」のタイトルバックの写真は、読者の皆さんが撮影された写真を掲載しています。

おしらせ

●定期点検/定期休転のお知らせ
2015年12月4日時点において、実施日の定まった、定期点検等は予定されていません。

連結決算報告

2015年4月～2015年9月 (単位:億円)

項目	14年度 第2四半期	15年度 第2四半期	差異
売上高	3,077	3,232	155
営業利益	62	205	142
経常利益	48	196	147
四半期純利益	0	137	136

宇部市の写真募集中!

「翼」のタイトルバックの写真は、読者の皆さんが撮影された写真を掲載しています。

クイズ

宇部興産では4つの自社発電設備を所有しています。そのうちの1つを教えてください。正解者の中から抽選で10名の方に、「かわぬ」デザインの手ぬぐい1点をお送りします。(ヒント:「環境安全部」)



Web「翼」

Web限定の「こぼれ話」や「編集者」が登場。宇部興産のパソコン背景(壁紙)をプレゼント。

訂正

前号(No.6)「宇部興産物語」において誤字がありました。謹んでお詫び申し上げます。(誤) 師弟学校 → (正) 徒弟学校

次号発行予定日

2016年6月18日

